

「阿武萩地域スマート林業推進研修会」を開催

令和5年11月10日（金）、萩農林水産事務所が旭マルチメディアセンター（萩市大字明木）において、「阿武萩地域スマート林業研修会」を開催しました。森林資源の把握から主伐－再造林までの一連の作業の省力化と採算性の向上を図るため、林業事業者がスマート林業技術を試用し、実装化に向けた検証を行うことを目的に開催し、管内林業事業者や市町5名が参加しました。

今回の研修会に先立ち、阿武萩森林組合が9月からiPhoneを使った森林計測システム「mapry」を試用し、標準地調査に活用しています。

研修会では、株式会社ミライト・ワンからmapryの概要を説明があった後、会場周辺で参加者が実際にmapryを試用したり、バックパック式のLiDARで計測する様子を見学しました。

その後、阿武萩森林組合職員から標準地調査の検証結果について報告がありました。従来の測定方法（直径巻尺、バーテックス）と比較した誤差率は胸高直径では3%程度、樹高では5%程度となる一方で、大幅な測定時間の短縮と人役の縮減につながると報告されました。

今年度は引き続きmapryによる測量等に取り組み、検証していく予定です。



mapryの操作方法



操作実習